

広島県商工労働局補助金等審査会 新たな価値づくり研究開発支援部会 議事要旨

広島県商工労働局補助金等審査会
新たな価値づくり研究開発支援部会

1 書類審査について

(1) 会議の概要

開催日時	令和7年4月2日(水)～令和7年4月11日(金)
開催方法	書面
議題	ヒアリング審査の対象事業の選考
出席委員 (5名)	A委員(大学教授)、B委員(大学教授)、C委員(大学准教授)、 D委員(合同会社代表)、E委員(広島県商工労働局課長)
担当部署	広島県商工労働局自動車・新産業課

(2) 新たな価値づくり研究開発支援補助金の事業計画書等の書類審査

	評価項目					合計	平均	選考結果	
	採択基準 (適・否)	事業性評価基準 (開発能力)	事業性評価基準 (事業化実現可能性)	事業性評価基準 (県内の波及効果)	県内事業化基準 (実施場所)				
配点	適・否	30	25	15	10	80	16.0		
申請者	a	適	24	17	13	10	64	12.8	○
	b	適	30	22	14	10	76	15.2	○
	c	適	26	16	8	10	60	12.0	選外
	d	適	19	15	11	10	55	11.0	選外
	e	適	24	16	10	10	60	12.0	選外
	f	適	19	13	9	10	51	10.2	選外
	g	適	29	18	12	10	69	13.8	○
	h	適	24	17	11	10	62	12.4	選外
	i	適	29	20	13	10	72	14.4	○
	j	適	25	17	12	10	64	12.8	○
	k	適	26	16	10	10	62	12.4	選外
	l	適	19	15	11	9	54	10.8	選外
	m	適	24	17	13	10	64	12.8	○
	n	適	26	20	12	10	68	13.6	○
	o	適	22	15	10	9	56	11.2	選外
	p	適	27	18	12	8	65	13.0	○
	q	適	26	16	10	9	61	12.2	選外
r	適	24	19	11	10	64	12.8	○	
s	適	22	15	12	10	59	11.8	選外	
t	適	22	13	11	10	56	11.2	選外	

u	適	30	23	15	10	78	15.6	○
v	適	26	19	13	10	68	13.6	○
w	適	26	17	11	10	64	12.8	○

補助要件を満たす 23 件の申請があり、書類審査を実施した。委員の評価点の平均が高い上位 12 件をヒアリング審査の対象事業として選考した。

委員からは次のような意見があった。(選外事業)

申請者	意見
c	技術的実現性や高速検知能力は評価されるが、市場規模や波及効果が不明瞭で、さらなる市場調査と具体性が求められる。
d	平炉製炭の独創性や地域連携は評価されるが、市場計画や競合優位性の具体性が不足し、波及効果やデジタル化への貢献度に課題が残る。
e	新規性や数値目標は評価されるものの、競合比較や市場計画の具体性が不足。EV シフトでニーズはあるが波及効果には課題が残る。
f	セラミックス長尺ラミネート化の独創性や品質向上は評価されるが、自動化の内容や市場動向の具体性が不足し、実現性や波及効果に疑問が残る。
h	PEEK 材の航空宇宙分野応用は独創性が評価されるものの、市場戦略や波及効果の具体性が不足し、事業化のハードルと売上インパクトに課題が残る。
k	プレス成形×レーザ接合の独自性や軽量化・CO2 削減の明確な目標は評価されるが、量産体制や市場展開の具体性が不足している。
l	廃材リサイクルの着眼点や事業化計画の具体性は評価されるが、防草効果や技術詳細が不明瞭で、ものづくりの高度化への貢献度が課題。
o	グリーン水素の低コスト製造モデルや実証体制は評価されるが、市場計画や競合優位性の具体性が不足。研究開発要素が薄い。
q	PTES を中心としたエネルギー貯蔵技術や具体的課題への対応策は評価されるが、電力会社との連携やオークション落札の不確定要素が課題。事業化には時間を要する見込み。
s	熟練技術の自動化や DX による課題解決の姿勢は評価されるが、技術要素の新規性や実現性の根拠が不十分で、波及効果や優位性の説明が不足している点が課題。
t	ジャムの高品位化に向けた具体的な数値目標や技術的工夫は評価されるが、市場調査や出口戦略の拡充が不足し、事業のインパクトが限定的である点が課題。

2 ヒアリング審査について

(1) 会議の概要

開催日時	令和 7 年 4 月 23 日 (水) 9:40~17:00
開催方法	WEB (ZOOM)
議題	新たな価値づくり研究開発支援補助金の採択予定事業の選定
出席委員 (5 名)	A 委員 (大学教授)、B 委員 (大学教授)、C 委員 (大学准教授)、 D 委員 (合同会社代表)、E 委員 (広島県商工労働局課長)
担当部署	広島県商工労働局自動車・新産業課

(2) 新たな価値づくり研究開発支援補助金に係る事業計画書の審査

書類審査を通過した12件を対象として、ヒアリング審査を実施した。委員の評価点の平均が高いものから順に、予算額の範囲内で採択予定事業として10件を選定した。

	評価項目						合計	平均点	採択 予定	
	採択基準 (適・ 否)	事業性評価基準 (開発能力)	事業性評価基準 (事業化実現可 能性)	事業性評価基準 (県内への波及効 果)	県内事業化基準 (実施場所)	その他				
配点	適・否	85	85	65	20	5	260	52		
申請者	a	適	65	58	53	20	5	201	40.2	○
	c	適	74	68	45	20	5	212	42.4	○
	d	適	74	65	51	20	5	215	43.0	○
	g	適	71	74	56	20	5	226	45.2	○
	j	適	66	63	46	20	5	200	40.0	予算超過
	l	適	64	58	53	20	0	195	39.0	予算超過
	m	適	73	70	51	20	5	219	43.8	○
	o	適	67	67	45	18	5	202	40.4	○
	p	適	68	68	49	20	5	210	42.0	○
	q	適	74	75	54	19	5	227	45.4	○
	s	適	72	69	49	20	5	215	43.0	○
t	適	69	63	47	20	5	204	40.8	○	

委員からは次のような意見があった。

申請者	意見
a	製造業のDX化を促進する有望なテーマとして評価される。自社ショールームでの展示による理解促進の取り組みは評価できる。
c	自社技術を応用した世界初のオンリーワン技術であり、新規事業分野への挑戦として評価。目標設定、課題の明確化、解決策は論理的で、実用化に向けた準備も整っており実現性が高いと判断される。多市場展開の可能性や技術的優位性が注目される。
d	新しいレーザー溶接工法は新規性があり市場ニーズに即しており、事業化の可能性が高いと評価される。技術開発目標は明確で具体的な課題解決が進められているため、実現性には期待が持てる。
g	高齢者の移動支援や製造企業の育成による経済波及効果が評価され、実現性も高いとされる。OTAアップデートを含む差別化された概念は魅力的であり、事業化の目処も立っていると見られる。
j	高品質発酵飲料の開発は健康食品分野で広範な展開が期待されるが、研究開発と企業運営の両立は概ね評価されるものの、技術課題が不明確で、実現性が判断しにくい点が課題。昨年度採択テーマとの類似性が高いと思われる。
l	めっき膜の高品位化を目指す技術はものづくりのCN化に貢献する意義あるテーマとして評価されるが、基礎研究段階であり、開発目標に定量的な設定値が不足している点や課題の詳細なブレークダウンが求められる。一方で、事業獲得性は高く、今後の進展に期待が持てる

	内容である。
m	切断機の新規開発は現場ニーズに即した意義あるテーマで、試作機や実験から実現性は高いと評価される。開発コンセプトや制御技術の精度は高く、資料も論理的で事業化の見込みがあるが、ものづくりの高度化・デジタル化への貢献度が課題とされる。
o	バイオコークスによる鋳造業のCN化は、サーキュラーエコノミーともものづくりのCN化に貢献する挑戦的な取り組みとして評価される。技術開発は他社の協力を得て詳細に進められている。
p	リサイクルによるCN技術の開発は、サーキュラーエコノミーに貢献し事業化の可能性が高い画期的な取り組みとして評価される。ケミカルリサイクルの重要性は高いものの、仮説設定の経緯やデータ活用の有効性に改善が求められる。市場への影響が期待されるが、技術的課題の解決が鍵となる。
q	蓄熱技術を活用した乾燥炉の開発は、ものづくりのCN化に貢献する革新的なテーマとして高く評価される。技術内容や実施計画は申し分なく、各検討項目やモデル検証が論理的に進められており、実現性への期待が大きい。事業化後の波及効果が大きいと見込まれる。
s	協働ロボットを活用したシステムの構築は、中小企業のDX化に資する有意な取り組みとして評価される。加工精度向上に向けた検討・開発は進められており、技術の確立が期待される。
t	半導体の特性向上を目指す新規性・革新性のあるテーマで、日本の高いシェアを背景に期待される。技術は評価される。技術の進展が期待される取り組みである。